
理解

森山KOUSEI

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

理解

【Nコード】

N2867F

【作者名】

森山 K O U S E I

【あらすじ】

あなたは自分の弱い部分を理解し、向き合って生きていますか？
理解する事について書いた詩です。

ねえ、僕が見えない？

確かに僕はここに存在しているのに、あなたには僕が見えませんか？

あなたがちゃんと僕を見ようとすれば見えるはずだよ。

あなたはいつも自分の事しか考えていないから、僕がみえないんだ。

つまり、僕を受け入れよう理解しようという心がないんだよ。

どうして、僕の言葉を聞いてくれないの？

どうして、僕の事を否定するの？

あなたはいつも自分の中に好きなものを否定されると、その人を敵だと思ってしまうよね。

でも、人にはいろいろな考え方や見方があるんだよ。

あなたは、自分の考えや意見にただ同意してくれるだけの人が好きなんだ。

だから僕がみえないんだ。

だって僕は中身はしっかりあるんだけど、表面はないのと同じなん

だよ。

あなたは中身なんてどうでもいいんだよ。
というか面倒くさい。

人の感情や思いなんて曖昧なものはいらない。

ただ欲しいのは確実にある目に見えて、触れたら感触のある表面的で心地よいもの

つまり、自分の都合のいい事実しか受け入れず、欲望を満たす人間。

でも、いつか気づくんだよ。

それは鏡に映る自分を見ていて、触って、それを心地よいと感じているだけなんだよ。

本当は僕に触れたいんでしょ？

本当は僕を見てみたいんでしょ？

でもいつしか僕の見方も、触れ方もわかんなくなってしまった。

そしてそれを素直に言えなくなった。

僕はあなたを理解しようとしているんだ。

あなたがどんなにひどい言葉やひどい事をしたとしても、

僕はあなたを理解したい。

でも、あなたは怖がつてるんだ。

弱い自分を見せる事を……

怖がつているんだよ。

ねえ、手を伸ばしてよ。

本当はそこから抜け出したいんでしょ、
本当は自分を理解して愛してほしいんでしょ、

あなたの中にある。あなたを被う殻はあなた自身が作ったものだよ。

僕がその殻から抜け出させてあげるよ。

そしてあなたを受け入れたいし、理解したいんだ。

だって僕はもう一人のあなただから

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2867f/>

理解

2010年11月19日08時02分発行